

平成一八年度大学・短期大学・高等専門学校における障害学生の修学支援に関する実態調査結果について

本機構では、全国の大学・短期大学・高等専門学校を対象に障害学生の修学支援に関する実態調査を実施しました。本調査は昨年度に引き続き二回目であり、結果の概要は次のとおりです。

一 調査概要及び回収状況

(一) 目的…今後の障害学生の修学支援に関する方策を検討する上で、全国の大学・短期大学・高等専門学校（以下「学校」という。）における障害学生の状況及びその支援状況について把握し、障害学生の修学支援の充実に資する。

(二) 対象…大学（大学院及び大学院大学を含む。以下同じ。）短期大学（部）（大学内に短期大学部を有している場合を含む。以下同じ。）、高等専門学校（専攻科を含む。以下同じ。）

(三) 調査方法…郵送による匿名調査

(四) 調査期日…平成一八年五月一日現在

(五) 回収状況…回答校数一、二六七校（回収率九三・八％）

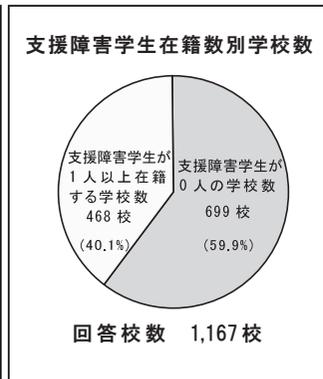
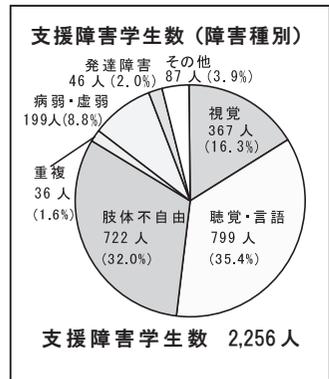
二 調査結果概要

(一) 障害学生数…四、九三七人（全学生数に対する割合は〇・一六％）

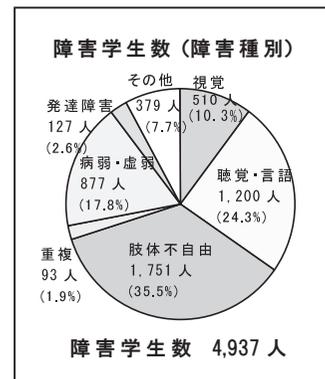
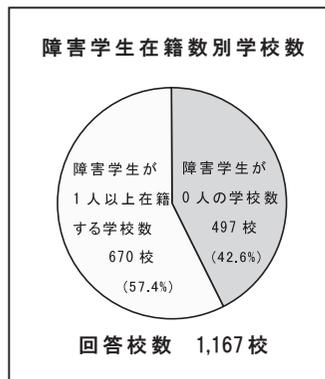
(二) 支援障害学生<sup>\*</sup><sub>1</sub>数…二、二五六人（全学生数に対する割合は〇・〇七％）

支援障害学生が0人の学校数…六九九校（回答校全体の五九・九％）

支援障害学生が一人以上在籍する学校数…四六八校（回答校全体の四〇・一％）

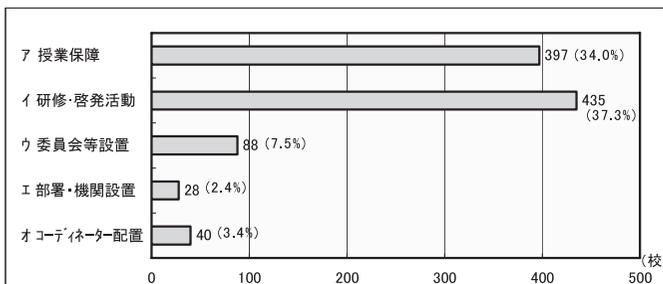


障害学生が0人の学校数…四九七校（回答校全体の四二・六％）  
 障害学生が一人以上在籍する学校数…六七〇校（回答校全体の五七・四％）



(三) 障害学生の修学支援に関する実施校数状況

- ア 授業保障<sup>\*</sup>…三九七校（回答校全体の三四・〇％）
- イ 研修・啓発活動…四三五校（回答校全体の三七・二％）
- ウ 委員会等設置…八八校（回答校全体の七・五％）
- エ 部署・機関設置…二八校（回答校全体の二・四％）
- オ コーディネイト業務<sup>\*</sup>を専門に行っているスタッフ配置…四〇校（回答校全体の三・四％）



今回の調査から、障害学生総数が四、九三七人（全学生数に対する割合は〇・一六％）在籍しており、障害学生が在籍していない学校が全体の約四割あること、また、支援障害学生総数が二、二五六人（全学生数に対する割合は〇・〇七％）在籍しており、支援障害学生が在籍していない学校が約六割あることが分かりました。

障害学生に対する授業保障、障害学生に関する研修・啓発活動を行っている学校が全体の三割を超える一方で、委員会の設置、部署・機関の設置、コーディネーターの配置について対応している学校は、いずれも全体の一割以下となっています。

このような中、本機構の事業として、七つの大学（宮城教育大学、筑波大学、日本福祉大学、同志社大学、関西学院大学、広島大学、福岡教育大学）のご協力により、障害学生支援担当者の悩みにお応えする相談事業を行っています。

また、障害学生を受け入れる際、どういった支援が必要かをメニュー形式で情報提供した「障害学生修学支援メニュー」や、障害学生の受け入れにあたって、入学準備から入学後の様々な場面での必要な支援体制や方策を時系列に分かりやすく解説した「はじめて障害学生を受け入れるにあたって」、更には障害学生修学支援についての基本的な疑問にQ&A形式で解答する「障害学生支援のためのFAQ」を本機構のホームページに掲載しています。

これらの相談事業やホームページをご活用いただいて、今後より一層障害のある学生の受け入れが促進されることを期待しています。

### 「帰国外国人留学生メールマガジン発行」の案内

本機構留学生事業部交流事業課では帰国外国人留学生に対するフォローアップの新たな取組として同留学生向けのメールマガジンを本年七月に創刊する予定です。

我が国へ留学していた方々との交流を帰国後も継続していくための一助として本メールマガジンにより帰国外国人留学生へ定期的に情報提供を行ってまいりますので、関係機関の皆様には、帰国外国人留学生及び帰国または卒業予定の留学生の方々へ周知していただきますようお願い申し上げます。また、併せて、帰国外国人留学生に対する支援の取組や計画、または帰国外国人留学生が参加可能なイベント（国内外を問いません）がありましたら、同メールマガジンの中で紹介したいと考えておりますので、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。

◇実態調査について  
【掲載先URL】  
[http://www.jasso.go.jp/tokubetsu\\_shien/chosa06.html](http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/chosa06.html)

◇相談事業について  
【掲載先URL】  
[http://www.jasso.go.jp/tokubetsu\\_shien/sodan.html](http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/sodan.html)

\*1 支援障害学生：学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行っている（予定を含む。）障害学生。

\*2 授業保障：ノートテイク、手話通訳、点訳等。

\*3 コーディネイト業務：障害学生からの相談対応、障害学生と支援スタッフとの連絡調整等。

### 帰国外国人留学生メールマガジン・フロー



カテゴリー案	コンテンツ案
JASSOからのお知らせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「フォローアップ事業」の紹介</li> <li>・「留学フェア」の紹介</li> <li>・「日本留学試験」の紹介</li> <li>・JASSO海外事務所便り</li> </ul>
学術情報関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本の学術団体が実施する事業」の紹介(学術シンポジウム等)</li> <li>・「日本語関連試験」の紹介(日本語能力試験等)</li> </ul>
帰国留学生事情の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本の大学等での活動、事業」の紹介(同窓会活動等)</li> <li>・「海外の帰国留学生会」の紹介</li> <li>・「帰国留学生OB/OG」の紹介</li> </ul>
日本事情の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本事情」の紹介(スポット、グルメ、文化等)</li> <li>・「留学生と地域との交流」の紹介</li> </ul>

対象者…帰国外国人留学生  
購読申込…本機構ホームページから申し込みできます。  
【掲載先URL】 <http://www.jasso.go.jp/exchange/magazine.html>  
配 信…

平成一九年七月に第一号の創刊を予定しています。(以降、隔月発行)  
定期刊行に先立ち本年一月及び三月に発行したパイロット版は右記の本機構ホームページからご覧ください。  
コンテンツについて…英語版と日本語版の併記により作成します。

お問い合わせ…  
日本学生支援機構 留学生事業部 交流事業課 フォローアップ事業係  
〒一五三ー八五〇三 東京都目黒区駒場四ー五ー二九  
電 話…〇三ー六四〇七ー七四五五  
FAX…〇三ー六四〇七ー七四六〇  
E-mail : [ef3@jasso.go.jp](mailto:ef3@jasso.go.jp)

### 国際シンポジウム「先輩が語る日本留学の価値ー得たもの・得てほしいものー」開催のお知らせ

東京国際交流館は、外国人留学生、日本人学生、国内外の研究者が集い語らう「国際研究交流大学村」の一拠点として、さまざまな国際交流事業を実施しています。

このたび当館では、以下の概要のとおり、国際シンポジウムを実施します。このシンポジウムでは、日本留学生が帰国後、産・官・学界において活躍するために、留学中に身につけておくべきスキルや知識について、各界で活躍中の日本留学の先輩が実体験を踏まえて論じます。参加費は無料です。是非ご参加ください。



昨年度の国際シンポジウム(基調講演)

#### ◇国際シンポジウム概要

- ・主催 日本学生支援機構
- ・日時 平成一九年七月一日(日)

- ・場所 東京国際交流館プラザ平成 東京都江東区青海二ー七九 国際研究交流大学村内 電話〇三ー五五二ー一六〇〇ー一
- ・参加受付 本機構ホームページにて受付いたします。詳しくは <http://www.jasso.go.jp/> をご覧ください。

#### ◇プログラム(日英同時通訳あり)

- 一三時 開会
- 一三時一〇分 基調講演 レンツェンドー・ジグジッド駐日モンゴル国特命全権大使
- 一四時 パネル・ディスカッション第一部「日本での学びが未来のあなたを作る(産業界編)」
- 一五時四〇分 ティーブレイク
- 一六時 パネル・ディスカッション第二部「日本での学



昨年度の国際シンポジウム(開催主旨説明)

びが未来のあなたを作る（官界・学界編）」

一七時四〇分 全体総括・閉会  
一八時 ネット・ワーキング（一九時半終了）

## 日本語教育センター入学式

東京日本語教育センターは、七〇年の歴史をもつ日本語学校で、充実した指導体制の元、専門スタッフによる進学相談も行っていきます。これまで世界一二ヶ国、約二万人の留学生を受け入れ、全国の国立大学、私立大学等へ進学させています。

また、大阪日本語教育センターにおいても、三〇年以上にわたる経験と実績に基づく多くの進学のノウハウを蓄積しています。今までに八五ヶ国、約二万人が卒業し、卒業生の多くは、大学等に進



東京日本語教育センター入学式

学した後、それぞれの出身国に戻り産業界や教育界など幅広い分野で活躍しています。

平成一九年四月六日（金）、東京日本語教育センターの平成一九年度一年コースの入学式を挙行了たしました。式当日には、新入生二三ヶ国一八二名の留学生が出席しました。

平成一九年四月一〇日（火）、クレオ大阪中央大ホールにおいて、大阪日本語教育センターの平成一九年四月生入学式を挙行了たしました。今回はサウジアラビア政府派遣留學生八〇名を含む、二四ヶ国・地域から一九八名の新入生を迎えました。

北原保雄日本学生支援機構理事は挨拶で「限られた短い期間で日本語やその他の知識を習得することは大変な努力を要するが、経験豊かで熱心な教員が、楽しく充実した授業を行いますので、皆さんもしっかり勉強してください」と新入生に挨拶をしました。



大阪日本語教育センター入学式